令和２年度

事 業 計 画 書
収 支 予 算 書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

目　　次

令和２年度事業計画書

Ⅰ　背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ　背景を踏まえた本年度の事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅲ　科学技術に関する助成及び普及啓発事業

１．兵庫県科学技術振興助成金の贈呈・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

（１）　新技術実施化の助成

（２）　試作試験の助成

２．科学技術振興に関する普及啓発事業の実施・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅳ　健全な財政基盤の構築と事務局運営・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

令和２年度予算 正味財産増減計算書

（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）・・・・・・・・・・・・・・・・2

令和２年度収支予算書内訳表

（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）・・・・・・・・・・・・・・・・3

令和２年度　事業計画書

Ⅰ．背景

　ラグビーワールドカップの成功、東京オリンピック、大阪・関西万博開催など明るい話題も、新型ウィルスの脅威で先が読めず、経済だけでなく日常生活にも深刻な事態をもたらそうとしている。その様な状況のなか「兵庫 2030 年の展望」の未来の活力創出プロジェクトは着々と進んでいる。「起業立県実現プロジェクト」や「先端産業創造プロジェクト」などである。キーワードは、スタートアップ企業、成長期待産業、マテリアル革命、中小企業の生産性向上である。助成金をトリガーとして支援機関をはじめとした産学官連携のサポートで企業や研究機関を含めた地域活性化に繋がることを目標とする。

　本年度も工夫を凝らし、更に幅広く助成金制度活用の周知活動を行う。

Ⅱ．背景を踏まえた本年度の事業計画

１．兵庫県下の中小企業における科学技術の研究開発の発掘と助成を行う。

２．科学技術の発展と科学思想の普及啓発を図り兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資する。

３．公益財団法人の遵守事項に適合するよう各規定の整備を行い、安定した財政基盤に立った財団運営に取り組む。

Ⅲ．施策１　科学技術に関する助成及び普及啓発事業

１．兵庫県科学技術振興助成金の贈呈

（１）新技術実施化の助成

　　県下における科学技術に関する新技術の実施化に対し、それに必要とする経費を助成する。

（２）試作試験の助成

　　県下における科学技術に関する新技術の研究または試作試験に対し、それに必要とする経費を助成する。

２．科学技術振興に関する普及啓発事業の実施

　　県民を対象として、科学技術に関する知識及び思想の普及啓発のための講演会実施、並びに協賛または当該事業に必要とする経費を助成する。

Ⅳ．健全な財政基盤の構築と事務局の運営

　パンフレットの作成、ホームページの充実、他法人の機関紙などを通じ、幅広く事業の周知を図り応募件数並びに賛同者の増加に努める。

令和２年度予算　正味財産増減計算書

令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	令和元年度予算	令和２年度予算	増減	備考
Ⅰ一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
（１）経常収益				
基本財産運用益				
兵庫県縁故債利息	2,140,000	2,140,000	0	
特定資産運用益				
みずほフィナンシャルグループ社債	28,200	28,200	0	
雑収益				
受取預金利息	10	10	0	
公益事業繰越金	30,000	0	△ 30,000	
経常収益計	2,198,210	2,168,210	△ 30,000	
（２）経常費用				
①事業費	1,644,000	1,666,000	22,000	
開発助成金	1,400,000	1,400,000	0	
委員会議費	12,000	12,000	0	
諸謝金	70,000	70,000	0	
通信運搬費	48,000	60,000	12,000	周知実績に合わせ
消耗品費	30,000	40,000	10,000	周知実績に合わせ
賃借料	84,000	84,000	0	
②管理費	554,210	445,000	△ 109,210	
会議費	100,000	80,000	△ 20,000	
事務委託費	300,000	300,000	0	
消耗品費	134,000	50,000	△ 84,000	パンフは手作り
通信運搬費	15,000	10,000	△ 5,000	
雑費	5,210	5,000	△ 210	
経常費用計	2,198,210	2,111,000	△ 87,210	
当期経常増減額	0	57,210	△ 57,210	次年度助成金へ
他会計振替	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	7,962,753	7,653,070	△ 309,683	令和元年度決算予測
一般正味財産期末残高	7,962,753	7,710,280	△ 252,473	
Ⅱ　指定正味財産増減の部			0	
受取補助金等	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0	
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0	
Ⅲ　正味財産期末残高	207,962,753	207,710,280	△ 252,473	

令和２年度予算　収支予算書内訳表

令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引控除	合計
	研究開発助成金事業	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
１．経常増減の部					
（１）経常収益					
基本財産運用益　（74.1%公益率）	1,585,800	1,585,800	554,200	0	2,140,000
兵庫県縁故債利息	1,585,800	1,585,800	554,200	0	2,140,000
特定資産運用益	28,200	28,200	0	0	28,200
研究開発助成金資金	28,200	28,200	0	0	28,200
雑収益	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	10	0	10
公益事業繰越金	0	0	0	0	0
経常収益計	1,614,000	1,614,000	554,210	0	2,168,210
（２）経常費用					
事業費	1,666,000	1,666,000			1,666,000
開発助成金	1,400,000	1,400,000			1,400,000
委員会議費	12,000	12,000			12,000
諸謝金	70,000	70,000			70,000
通信運搬費	60,000	60,000			60,000
消耗品費	40,000	40,000			40,000
賃借料	84,000	84,000			84,000
管理費			445,000	0	445,000
会議費			80,000	0	80,000
事務委託費			300,000	0	300,000
消耗品費			50,000	0	50,000
通信運搬費			10,000	0	10,000
雑費			5,000	0	5,000
経常費用計	1,666,000	1,666,000	445,000	0	2,111,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 52,000	△ 52,000	109,210	0	57,210
当期経常増減額	△ 52,000	△ 52,000	109,210	0	57,210
他会計振替	109,210	109,210	△ 109,210	0	0
当期一般正味財産増減額	57,210	57,210	0	0	57,210
一般正味財産期首残高	6,000,000	6,000,000	1,653,070	0	7,653,070
一般正味財産期末残高	6,000,000	6,000,000	1,710,280	0	7,710,280
Ⅱ　指定正味財産増減の部					
受取補助金等	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0	0	200,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高					207,710,280

注）一般正味財産期首残高は令和元年決算予測